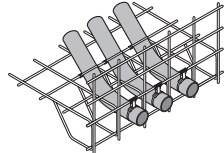


ZK-45L

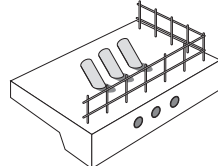
1.スリーブ曲管の設置

スリーブ管内の両端を養生テープなどでシールした後、配筋内にスリーブ曲管をセットします。



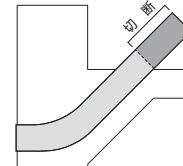
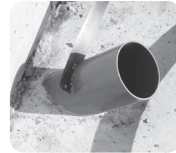
2.コンクリート打設

スリーブ曲管の固定後、コンクリートを打設します。



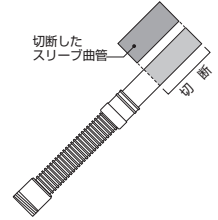
3.スリーブ曲管の切断

配管時に突き出しているスリーブ曲管を手ノコやサンダーなどで切断します。



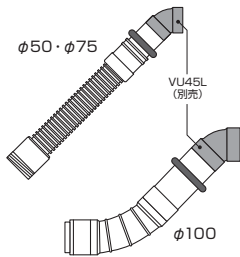
4.内管の切断

切断したスリーブ曲管と同一の長さを切断します。



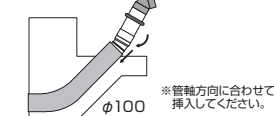
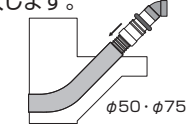
5.VU45L(別売)及びスリーブ曲管用シールリングの取付

シールリングを取付後にVU45Lを接着します。



6.スリーブ曲管への挿入

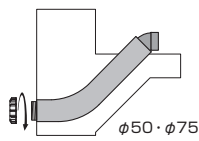
内管の部品にゆるみがないことを確認し、屋内側から内管を挿入します。



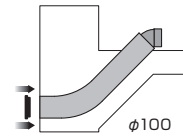
※接続部の「分解禁止シール」が剥がれている場合は、部品のゆるみが生じている可能性があります。その際は、施工前に部品を再度締め直してください。(φ50・φ75)

7.スリーブ曲管用固定ナットの取付

手締めで固定ナットを取付けます。

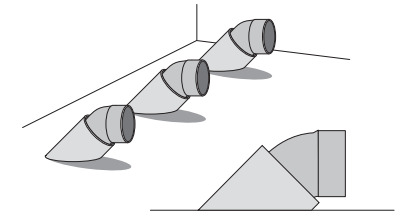


押し戻り防止ゴムリングを取付けます。



8.完了

屋内外の配管工事を行います。

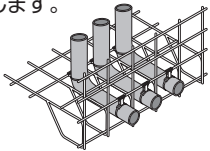


※スリーブ曲管上流側に配管を継ぎ足して使用しないでください。

ZK-90L

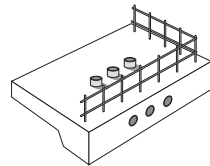
1.スリーブ曲管の設置

スリーブ管内の両端を養生テープなどでシールした後、配筋内にスリーブ曲管をセットします。



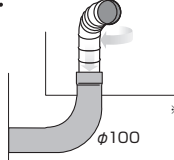
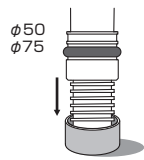
2.コンクリート打設

スリーブ曲管の固定後、コンクリートを打設します。



4.スリーブ曲管への挿入

内管の部品にゆるみがないことを確認し、屋内側から内管を挿入します。

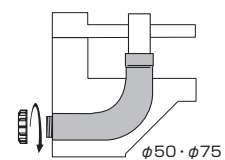


※立上がり基礎と干渉する場合は、ひねりながら挿入してください。

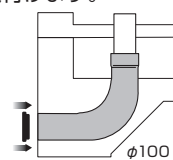
※接続部の「分解禁止シール」が剥がれている場合は、部品のゆるみが生じている可能性があります。その際は、施工前に部品を再度締め直してください。(φ50・φ75)

5.スリーブ曲管用固定ナットの取付

手締めで固定ナットを取付けます。

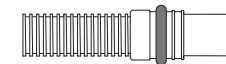


押し戻り防止ゴムリングを取付けます。



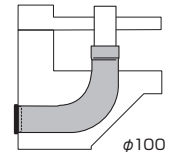
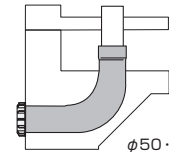
3.スリーブ曲管用シールリングの取付

シールリングを取付けます。



6.完了

屋内外の配管工事を行います。



※スリーブ曲管上流側に配管を継ぎ足して使用する場合は、施工前に、内管が挿抜可能なことを確認してください。
ZK-90L 100にてスリーブ曲管上流側を延長する際は、VU DS125、VU125を使用してください(最大100mmまで延長可能)。